

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市中央いきいきプラザ 千葉市花見川いきいきプラザ 千葉市稲毛いきいきプラザ 千葉市若葉いきいきプラザ 千葉市緑いきいきプラザ 千葉市美浜いきいきプラザ	千葉市蘇我いきいきセンター 千葉市花見川いきいきセンター 千葉市さつきが丘いきいきセンター 千葉市あやめ台いきいきセンター 千葉市大宮いきいきセンター 千葉市都賀いきいきセンター 千葉市越智いきいきセンター 千葉市土気いきいきセンター 千葉市真砂いきいきセンター
条例上の設置目的	<ul style="list-style-type: none">● 千葉市老人福祉センター設置管理条例(昭和59年千葉市条例第20号) 第1条で設置する老人福祉センター● 千葉市いきいきセンター設置管理条例(平成14年千葉市条例第14号) 第1条で設置するいきいきセンター	
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者の健康の増進、教養の向上、世代間交流等の機会を提供することにより、高齢者が健康で生きがいのある生活が送ることができる地域社会を構築していく。このことを通じて、高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、介護予防分野において支援を行う。	
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者が学習意欲を発揮し、地域社会への参画意識を持てるような機会を提供していく。● 高齢者の健康づくりや介護予防の場を提供していく。	
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上により、さらに多くの高齢者に施設を利用してもらう	
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートによる利用者満足度	
数値目標※	① 令和元年度利用者数を基準とし、千葉市の高齢者人口の伸び率を乗じた人数以上 ② 満足度80%以上	
新型コロナウイルスの影響	<ul style="list-style-type: none">● 令和4年6月10日まで部屋の定員を半分にして各種事業を実施。● カラオケ・合唱・スポーツ吹矢は、令和5年3月13日までの間を利用制限。	
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課	

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会 (旧：千葉市社会福祉事業団)
構成団体 (共同事業体の場合)	
主たる事業所の所在地	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日 (5年)
選定方法	非公募
非公募理由	平成23年度に実施した外郭団体の事務事業の見直しの結果を踏まえ、いきいきプラザ及びいきいきセンターのような安定的なサービス供給が求められる施設の指定管理については、公募によらない方法により、外郭団体に行わせるべきサービスとして整理され、平成24年度に各条例を改正し、公募によらない方法により指定管理を行うこととなった。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 施設利用者数

施設名	数値目標(※1)	R6年度実績	達成率	評価
千葉市中央いきいきプラザ	59,318人	39,472人	66.5%	D
千葉市花見川いきいきプラザ	69,952人	67,166人	96.0%	C
千葉市稲毛いきいきプラザ	70,798人	76,332人	107.8%	B
千葉市若葉いきいきプラザ	83,995人	67,323人	80.2%	D
千葉市緑いきいきプラザ	67,192人	55,568人	82.7%	D
千葉市美浜いきいきプラザ	120,608人	85,046人	70.5%	D
千葉市蘇我いきいきセンター	22,608人	24,031人	106.3%	B
千葉市花見川いきいきセンター	32,610人	21,577人	66.2%	D
千葉市さつきが丘いきいきセンター	19,762人	18,443人	93.3%	C
千葉市あやめ台いきいきセンター	20,827人	23,671人	113.7%	B
千葉市大宮いきいきセンター	10,611人	18,603人	175.3%	A
千葉市都賀いきいきセンター	23,466人	18,959人	80.8%	D
千葉市越智いきいきセンター	12,909人	13,848人	107.3%	B
千葉市土気いきいきセンター	20,480人	15,693人	76.6%	D
千葉市真砂いきいきセンター	19,144人	16,834人	87.9%	C
合計	654,280人	562,566人	86.0%	C

※1 R7年3月末60歳以上人口317,779人÷R1年3月末全市60歳以上人口300,871人=105.6%
各施設R1年度実績×105.6%=数値目標

(2) 利用者アンケートによる満足度

施設名	数値目標	R6年度実績(※2)	達成率	評価	(回答者数)
千葉市中央いきいきプラザ		81.1%	101.3%	C	597人
千葉市花見川いきいきプラザ		85.5%	106.9%	B	498人
千葉市稲毛いきいきプラザ		83.6%	104.5%	C	831人
千葉市若葉いきいきプラザ		83.1%	103.9%	C	455人
千葉市緑いきいきプラザ		84.4%	105.5%	B	590人
千葉市美浜いきいきプラザ		78.8%	98.6%	C	1224人
千葉市蘇我いきいきセンター		77.7%	97.2%	C	310人
千葉市花見川いきいきセンター	80%	80.4%	100.6%	C	271人
千葉市さつきが丘いきいきセンター		85.8%	107.2%	B	267人
千葉市あやめ台いきいきセンター		84.4%	105.4%	B	262人
千葉市大宮いきいきセンター		91.8%	114.8%	B	98人
千葉市都賀いきいきセンター		79.1%	98.9%	C	316人
千葉市越智いきいきセンター		86.4%	108.0%	B	176人
千葉市土気いきいきセンター		86.8%	108.5%	B	227人
千葉市真砂いきいきセンター		87.6%	109.6%	B	275人
合計		82.6%	103.3%	C	6,397人

※2 算定方法は、6(1)アンケート質問8(6)の(満足+ほぼ満足)÷回答者数で算定

- 【評価の内容】** ※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
 - B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
 - C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 - D：成果指標が市設定の数値目標の60%以85%未満
 - E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

4 収支状況

(1) 収入

(単位：千円)

費目	R6年度		[参考] R5年度	計画実績差異		主な要因
	分類	金額		分類	金額	
指定管理料	実績	702,916	655,261	実績－計画	△ 18,645	以下①のとおり 人件費・光熱水費高騰のため。
	計画	721,561	674,691	計画－提案	42,071	
	提案	679,490	681,295			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	702,916	655,261	実績－計画	△ 18,645	
	計画	721,561	674,691	計画－提案	42,071	
	提案	679,490	681,295			

(2) 支出

(単位：千円)

費目	R6年度		[参考] R5年度	計画実績差異		主な要因
	分類	金額		分類	金額	
人件費	実績	434,044	432,866	実績－計画	△ 17,925	職員の人事異動による 予算編成時に精査したため。
	計画	451,969	447,654	計画－提案	△ 13,640	
	提案	465,609	465,269			
事業費	実績	116,288	107,438	実績－計画	△ 8,683	以下②のとおり 予算編成時に精査したため。
	計画	124,971	119,699	計画－提案	23,130	
	提案	101,841	101,788			
事務費 (委託料を除く)	実績	47,148	47,166	実績－計画	△ 8,323	予算編成時に精査したため。
	計画	55,471	47,386	計画－提案	1,317	
	提案	54,154	56,467			
委託費	実績	69,243	55,017	実績－計画	△ 333	予算編成時に精査したため。
	計画	69,576	55,550	計画－提案	17,529	
	提案	52,047	51,993			
その他事業費	実績	19,733	4,213	実績－計画	159	人事異動による予算組替のため
	計画	19,574	4,402	計画－提案	13,735	
	提案	5,839	5,778			
本社費・共通費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	686,456	646,700	実績－計画	△ 35,105	
	計画	721,561	674,691	計画－提案	42,071	
	提案	679,490	681,295			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

①収入の「実績－計画△18,645千円」の差額の主な要因について

人事異動や退職等による事務費（福利厚生費）・人件費（18,645千円）について、基本協定書第47条第5項により清算し、残額を返還しているため。

②支出の事業費「実績－計画△8,683」の差額の主な要因について

水道光熱費 計画64,624千円 実績54,237千円 → 燃料費高騰による対策をしていたが想定より光熱水費が高騰しなかったため。

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	C	3 (1) 達成率86.0%
利用者アンケートによる満足度	C	3 (2) 達成率103.3%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料収入実績／提案額の削減	-	人件費・光熱水費の高騰により、判定から除外する。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

-：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
<p>フリーWi-Fiの設置や、プラザ・センターまでのアクセスの問題について利便性の確保をご検討いただきたい。</p>	<p>令和5年度</p>	<p>フリーWi-Fiの設置については、利用者から要望はあるものの整備費用が高額であるため、引き続き検討を重ねる。 アクセスの問題については、令和7年度7月から9月で花見川いきいきプラザにおいて併設のデイサービスのバスの空き時間を活用し試行的に送迎バスの運行を実施している。 試行実施の結果を踏まえ、利用者の利便性の確保を引き続き検討していく。</p>
<p>評価資料中のアンケート結果について、施設ごとの回答者数がわかるように工夫していただきたい。</p>		<p>「3管理運営の成果・実績(2)利用者アンケートによる満足度」欄に無回答を除く施設ごとの回答者数を、「6利用者ニーズ・満足度等の把握(1)指定管理者が行ったアンケート調査」欄に施設毎の回答者数を記載した。</p>
<p>地域への出張サービスを増やしていくにあたり、活動場所や形態について、あらためてご検討いただきたい。</p>		<p>今までの出張教室は体操や健康測定、レクリエーションが主であったが、eスポーツ(健康テレビゲーム)が加わり、いきいきプラザ・センターから提供できるメニューが増えた。 イオンリテール株式会社と連携し、市内イオンスタイル等、6ヶ所で出張教室を実施した。 認知症の人と接点がなかった地域の住民や企業、商店などが、認知症本人や家族、医療福祉関係者などと一緒にタスキをつなぎながら走る、まちづくりのイベント「ラン伴2024千葉県」にいきいきプラザ・センターも参加して、関係各所と顔の見える関係づくりを行うとともに、スタート会場(千葉市役所市民ヴォイド)での催しとして健康測定会を実施した。 今後も生活支援コーディネーターやあんしんケアセンターを通じて新たな出張先の開拓を続けていく。</p>

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

調査方法 令和6年10月1日～31日の間、来館者全員にアンケート用紙配布。無記名にて記入の上、アンケート箱設置による回収。

回答者数 6,514人

令和6年度アンケート結果

							(人)		
							回答者数合計		
							6,514		
施設別回答者数							(人)		
中央P	蘇我C	花見川P	花見川C	さつきが丘C	稲毛P	あやめ台C			
608	317	514	276	268	844	265			
若葉P	大宮C	都賀C	緑P	越智C	土気C	美浜P	真砂C		
463	101	318	596	180	233	1,252	279		
回答者個人属性									
居住区							(人)		
中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	市外	無回答		
852	1,084	988	891	1,051	1,414	46	188		
性別							(人)		
男性	女性	無回答							
1,369	4,532	613							
年代							(人)		
60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～90歳	90歳以上	無回答		
169	563	1,366	1,915	1,676	575	69	181		
世帯構成							(人)		
ひとり暮らし	60歳以上のみの世帯	その他	無回答						
1,391	2,512	1,400	1,211						
質問1 ご利用いただいている内容は次のうちどれですか。(複数回答可)							(人)		
講座	1,919	同好会活動	3114	ヘルストロン・マッサージ機	171				
講演会	159	体操教室	792	テレビ視聴	21				
機能回復訓練	650	入浴・シャワー	72	新聞・雑誌閲覧	47				
生きがい活動	855	カラオケ	123	eスポーツ	115				
世代間交流	32	囲碁・将棋	163	その他	252				
生活・健康相談	40	トレーニング機器	26	無回答	176				
質問2 ご利用いただいている目的は次のうちのどれですか。(複数回答可)							(人)		
介護予防	体力増進	心配ごとの相談	友人との交流	生きがいづくり					
1,077	2,699	43	1,735	1,424					
教養・知識の習得	趣味・レクリエーション	入浴	その他	無回答					
1,186	2,201	62	35	233					
質問3 どのくらいの頻度でご利用いただいていますか。									
ほぼ毎日	週4～5日	週2～3日	週1回	月1～2回	年に数回	無回答			
0.5%	2.7%	16.9%	25.1%	52.2%	0.8%	1.7%			
32人	179人	1,099人	1,635人	3,403人	55人	111人			
質問4 いつからご利用されていますか。									
今年から	1年前から	2年前から	3年前から	4年前から	5年以上前から	無回答			
17.8%	9.9%	10.5%	9.0%	5.8%	43.1%	3.9%			
1,159人	645人	686人	586人	375人	2,809人	254人			
質問5 利用開始時に介護認定を受けていましたか。受けていた場合は、判定結果をご回答ください。							(人)		
受けてない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	合計
6,008	96	39	30	6	3	1	0	331	6,514
質問6 現在、介護認定を受けていますか。受けている場合は、判定結果をご回答ください。							(人)		
受けてない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	合計
5,343	136	31	32	9	3	1	0	959	6,514

質問7 主催事業にご参加いただく際、何かからお知りになりますか。(複数回答可)

(人)

市政だより	いきいきプラザだより	ホームページ	館内掲示	自治会等の回覧	知人の紹介	その他	無回答
3,698	1,347	74	884	89	1,170	79	434

質問8 運営状況について、感想をお聞かせ下さい。

設問	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
(1)設備・備品類の配備状況について	25.1% 1,634人	47.5% 3,095人	23.8% 1,548人	1.4% 88人	0.2% 11人	2.1% 138人
(2)施設的环境(衛生面・安全性)はいかがですか	25.4% 1,656人	46.6% 3,036人	24.7% 1,606人	1.3% 82人	0.2% 15人	1.8% 119人
(3)職員の対応はいかがですか。	41.0% 2,671人	41.1% 2,680人	16.3% 1,063人	0.3% 20人	0.1% 5人	1.2% 75人
(4)施設や事業の案内、お知らせは充分にできていますか。	22.0% 1,436人	42.5% 2,770人	30.4% 1,979人	1.7% 108人	0.1% 5人	3.3% 216人
(5)ご利用いただいた介護予防になると感じられますか。	37.5% 2,443人	43.0% 2,802人	12.0% 783人	0.6% 42人	1.5% 95人	5.4% 349人
(6)全体としてどのように感じますか。	27.5% 1,794人	53.6% 3,491人	16.7% 1,091人	0.3% 17人	0.1% 4人	1.8% 117人

※(4)の回答は、「充分、ほぼ充分、普通、やや不十分、不十分、無回答」から選択

※(5)の回答は、「そう思う、まあまあそう思う、普通、やや思わない、思わない、無回答」から選択

※成果指標の利用者アンケートによる満足度は(6)の(満足+ほぼ満足)÷回答者数で算定

82.6%

※各施設ごとのアンケート結果については、「参考資料の1-4」に掲載。

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

苦情については、指定管理者内部で概ね対応がなされており、市へ寄せられた苦情は年間3件と少なかった。「市に寄せられた主な意見・苦情」の欄には一例を記載しています。

市に寄せられた主な意見・苦情	市の対応
雨が降ると駐車場に水たまりが出来る。排水溝を設置するなど水たまりが出来ないように工事してほしい。	該当箇所は施設内に複数設置されているゲートボール場の1つです。当該施設は車の利用が多く、施設入り口近くへの駐車希望が多いことから、ゲートボール場の利用状況を勘案しながら施設入り口付近のゲートボール場内への駐車を認めています。舗装等の駐車場としての整備は、ゲートボール場を使用した屋外事業に支障をきたすことから考えておりません。道路を挟んですぐに第二駐車場がございますので、雨天時はそちらをご利用ください。
「老人福祉センター利用者受付簿」の名称を変えてほしい。「老人」と言われていい気はしない。	「いきいきプラザ利用者受付簿」へ名称変更するよう施設へ指示しました。
指定管理者に寄せられた主な意見・苦情	指定管理者の対応
(中央区)健康テレビゲームをしたかったが、先にやっていた方がなかなか終わらなかったため、できなかった。	待っている方がいるときは、順番で行うようポスター掲示で周知を行いました。
(花見川区)さつきが丘いきいきセンター、公民館に自動販売機を設置してほしい	自動販売機についてはある程度の売り上げが見込めないと設置が困難です。また、さつきが丘いきいきセンターには設置するスペースがありません。
(稲毛区)浴室に座面が高いイスを増やしてほしい。	新たにイスを購入し追加しました。
(若葉区)お風呂の湯温設定について知りたい。	東京都公衆浴場業生活衛生同業組合推奨の湯温設定を参考に対応していること、日々の湯温測定結果を浴室入口前に掲示していることを併せて回答掲示しました。
(緑区)介護が必要になった時の為に老人ホームなどの情報を知りたい。施設の中身の話や、事例の紹介など具体的なことが知りたい。	頂いた意見を参考にして、来年度に老人ホーム等の施設の紹介について講演会を企画することを伝えました。
(美浜区)照明が暗い。手元の作業が見づらい。	照明の更新を計画しつつ、テーブル照明を用意対応しました。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

ア 全体

総括 評価	C	所見 <ul style="list-style-type: none">●令和6年度の事業運営は、コロナ禍前に戻り通常の開館状況となった。ただ、同好会数や会員数が減少したままで、体験会や見学会等も実施して支援を行ったが増加にはなかなかつながらなかった。年度後半は新規団体の立ち上げも見られたため、今後も根気よく継続的に支援を行っていきたい。世代間交流や地域多世代交流、フェスティバル等のイベントについては、高齢者だけではなく多くの地域の方々に参加・協力していただき、いきいきプラザ・センターの名前を知っていただく機会となった。●出張教室の拡充及び新規団体の獲得を図った。イオンリテール株式会社と連携し、各区のイオンスタイル店舗で高齢者に限らず、プレ60歳や若い世代にも介護予防への啓発として健康測定会等を実施した。また、当協議会地域部門の強みを生かして、健康テレビゲーム普及のため地区部会代表者向けの研修会に参加したり、当協議会区事務所と協働で、プラザ・センターが各区の区民まつりに健康測定、健康テレビゲーム、レクリエーション体験等で出展した。●地域多世代交流を5区で実施し、地域での定着を図った。夏まつりやクリスマス会等のイベント以外にもレクリエーション体験会やボッチャ、モルック競技等にも幅が広がり、地域の方々が更に気軽に参加できるようになった。イベントと並行して、認知症見守り体験や身体の疑似体験、車いす体験等を実施して、高齢者福祉や障害者福祉への関心を深めていただく機会とした。●職員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症当事者やその家族等の誰もが安心して利用できるいきいきプラザ・センターを目指し取り組みました。あわせて、中央区ではパラスポーツ指導員もおり、身体障害をおもちの方への対応も行った。●全施設で利用者満足度の向上を図るため、令和5年度に検討していた他施設の状況等を知りえる手段として、内部広報誌を作成して全職員で共有した。●理学療法士の短期教室をオンラインで複数施設につなぎ、効率よく同時開催することにより、ボディケアスクールに落選した方や都合が合わず参加できなかった方等に多数参加いただいた。短期教室に参加したことがきっかけとなり、ボディケアスクールに参加していただいた方も見られた。●理学療法士が内部の指導員研修に講師として参加して、生きがい活動支援通所事業職員に対し体操の指導を行い、活動プログラムの充実を図った。
----------	---	---

イ 施設別

施設名	総括評価	所見
中央いきいきプラザ	C	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門職派遣事業は、中央区生活支援コーディネーター定例会や当協議会中央区事務所の地区部会連絡会で出張事業の案内を行い、出張先が43カ所となり、実施回数及び参加人数も増加した。 ● 中央区生活支援コーディネーターと連携し、「出張生きがい活動体験会」を実施し、いきいきプラザの周知と共に、自宅に閉じこもりがちな高齢者を定期的な地域の通いの場に繋げた。 ● 中央区健康課と連携しアリオ蘇我で2日間、イオンリテール株式会社と連携し、イオン系列商業施設各所で健康測定会を実施し、市民への健康啓発といきいきプラザの周知を図った。 ● 認知症協議体を4回開催し、認知症に関する掲示や、見守り訓練、認知症に関する講演会を実施したことで、「認知症バリアフリーの環境づくり」、「支援者を増やす活動」と「いきいきプラザが居場所として利用できる場である」ことを発信した。また、職員18名が認知症サポーターを取得した。 ● 地域多世代交流事業「夏まつり」「秋まつり」を実施し、高齢者疑似体験と車いす体験・認知症見守り訓練で、福祉や認知症への関心づくりと地域住民の方へいきいきプラザの活動内容の周知を図った。 ● いきいきプラザフェスティバルでは、隣接する松ヶ丘公民館の団体も出場し、両施設の交流を図った。また、当日公民館では「子どもの広場」が開催され、フェスティバルに多くの家族連れの来場があり、両施設のイベント同時開催による相乗効果が得られた。 ● 松ヶ丘地区全域の43関係機関が集まる松ヶ丘円卓会議に出席した。いきいきだよりやイベント等のチラシを、40の町内自治会延べ300枚を回覧板とSNSで発信し、施設の広報を図った。また、中央区の民生委員児童委員協議会にいきいきだよりを毎月配布し、新たな利用者確保に努めた。 ● 健康テレビゲーム（eスポーツ）は、館内・出張教室等で多くのご利用を頂いた。その中で、短期講座受講後、同好会が発足した。また、職員5名が健康ゲーム指導士の資格を取得し、eスポーツの普及に努めた。 ● ポイントケアルームやボディケアスクールで、各センターとオンラインでつなぎ、より多くの利用者に体操の機会を提供した。 ● ラジオ体操を毎朝実施することで、多くの方に運動を習慣づける機会を設けた。 ● 近隣大学の看護実習や社会福祉士実習を受入れ、高齢者の健康保持や地域生活支援に関する学習機会を提供した。

- 自主事業としてボディケアスクールを担当している理学療法士の運動を撮影したDVDを活用し、ミニボディケアスクールの実施枠を増やし、運動機会の拡充を図った。
- 利用者からのご意見を吸い上げ、シニアダンスとしてDISCO（ディスコ）を開催した。多くの方の参加があり、定期開催の要望が挙がった。
- 講演会では以前から観たいと多くのご意見をいただいていた「ダンケ（男声合唱団）」のコンサートを実施し、利用者の満足度向上に繋がった。
- 高齢者福祉講座は、期の途中から多くの方が参加できるよう短期（4半期）の講座を全18講座開講した。なかでも参加率の高い運動系を13講座開催した。補欠や落選の方等少しでも多くの方に参加していただけるよう、空き部屋に配信し参加していただいた。
- 地域多世代交流として、夏まつり、秋祭り、クリスマスを1日ずつ開催、健康テレビゲーム体験会やのど自慢大会、ワークショップの他あんしんケアセンターによる認知症啓発活動、千葉北高校吹奏楽部によるコンサート等を実施した。生きがい活動支援通所事業利用者が職員と協働して運営に参加する等、社会参加の機会を提供した。また、地域の町内自治会等と連携のもと実施した。
- X（旧ツイッター）を活用し、事業案内、活動報告を随時公開するとともに、翌日の予定を毎日更新する等して最新の情報が得られるよう努めた。要望に応じて登録を支援し、利用者が情報を得る機会を増やした。
- 近隣の町内自治会、地区部会その他、生活支援コーディネーター、健康課からの出張依頼を積極的に受け、介護予防の一助を担うため、地域高齢者に向けて健康測定や介護予防体操、健康テレビゲームやポッチャ等いきいきプラザの事業を体験していただく出張教室を実施した。また、同区各センターと協働し出張に対応した。
- 健康フェスティバルでは理学療法士による機能回復訓練個別相談ブースを設置し、体の動きや痛み等を評価し、アドバイスを実施した。
- eスポーツの拠点整備の一環として、短期講座や体験会の開催、フリースペースでの設置、生きがい活動支援通所事業にも取り入れた。生きがい活動支援通所事業職員も健康ゲーム指導士の研修を受講し、出張教室の対応も行った。
- 社会福祉協議会花見川区事務所と協働し、花見川区民まつりに出展や花見川地区部会従事者研修を開催した。また、民生委員児童委員協議会理事会でのお便りの配架を毎月依頼し、広報啓発を行った。千葉市あんしんケアセンターなど地域の関係機関との連携、協力に取り組み、生活支援コーディネーター第1.2層含めて情報共有や事業周知に努めた。あんしんケアセンターこてはし台・さつきが丘へ介護保険制度の仕組みやサービス、終活などの講演会を依頼し、実施した。

B

- 高齢者福祉講座の各定員を増やし、また、参加しやすい短期講座の実施を増やして利用者増に繋がった。短期講座（「発酵食品」）で講師を就労継続支援B型事業所に依頼したことから、開催時に障害のある方と受講生の交流の場にも繋がった。
- 施設の会場を地域の活動者（稲毛区シニアリーダーのメンバー）に演奏活動の場として「いなげFun-Fun（ファンファン）歌声ひろば」を定期的（毎月1回）に開催して利用者増に繋がった。どなたでも自由に参加でき、ギターの生演奏に併せて参加者が懐かしい歌を一緒に歌い、利用者同士の交流を深める場を図った。
- 認知症予防の効果につながる「eスポーツ」（太鼓の達人）の体験会・常設を実施するとともに出張教室のメニューにeスポーツを追加し、健康測定会や介護予防体操と併せてeスポーツを体験する機会の拡充を図った。
- ボディケアスクールを受けられない方へ理学療法士監修のDVDによる「ミニボディケアスクール」を実施して利用者増を図った。また、短時間の「ポイントケアルーム」を実施して利用者増を図った。
- 地域活動ボランティアの育成として「人のため自分のための読み聞かせボランティア講座」を実施するとともに、読み聞かせボランティア同好会（たんぼぼの会）への支援として近隣保育園児との交流を3回を行うなど、活動の支援を図った。また、今後、地域のボランティア活動に展開できるよう社会福祉協議会区事務所と情報共有して連携を図った。
- 生きがい活動支援通所事業では、定員を増やして利用者増に繋がった。また、新規利用者の確保含めて多くの高齢者の方への介護予防につなげるために「体験会」を実施、一般応募とは別に地域で高齢者と接点のある民生委員に参加・体験していただき、新規利用者の確保に努めた。
- 同好会への活動支援では、高齢者福祉講座終了後や同好会体験会を実施して新規同好会6団体立ち上げ、新規会員の加入に繋がった。
- 男性の利用参加の向上を図るために短期講座で「走らないサッカー」を実施、参加者数は少数ではあったが、男性のみ参加、また、普段利用のない新たな利用者の参加を得た。また、「ウォーキングフットボール同好会」の立ち上げ支援に繋がった。
- 個人の居場所づくりとして、麻雀の需要が高いことから一般開放部屋を増やして利用者増に繋がった。
- 地域多世代交流として、近隣の高校生や保育園児、地域活動団体、生きがい活動支援通所事業利用者の有志、千葉市あんしんケアセンターなどの参加協力の中、「粋いき秋まつり」を実施した。高校生のマンドリンギター演奏や地域活動団体の踊り・ダンス、eスポーツ体験、生きがい活動支援通所事業利用者有志の昔遊び、千葉市あんしんケアセンターの認知症SOS声掛けでは若い親子世代を含めたスタンプラリーなど、高齢・障害・児童が交流して、住民同士が相互理解する場に努めた。また、利用者がボランティアとして参加され、ボランティア活動の機会を図った。
- 社会福祉協議会区事務所と連携して社会福祉協議会地区部会のいきいきサロン等に出張して健康体操や健康測定、eスポーツを実施して、普段施設利用がない地域の高齢者への健康づくりや広報啓発を図った。
- 広報活動では、地域の高齢者と接点を持つ民生委員に情報提供するために、区内13地区の民生委員児童委員協議会に広報誌（いきいきだより）の毎月配布を実施して、新たな利用者確保に努めた。
- 社会福祉協議会区事務所と定期的に会議を設けて、情報共有や事業連携に努めた。
- 千葉市あんしんケアセンターなど地域の関係機関との連携協力に引き続き取り組み、情報共有や事業周知に努めた。

- 介護予防や認知症予防などを目的とした高齢者講演会を13回開催した。
- 高齢者福祉講座は、年度途中からでも参加しやすいよう短期講座(全4回)の回数を倍増し、定員充足率や参加率、新規受講者数の向上に繋がった。
- 千葉市あんしんケアセンター千城台による「出張相談会」を曜日・時間帯を変えながら毎月4回開催し、様々な困りごとに関する相談援助を行った。
- 千葉市あんしんケアセンター千城台と連携して「認知症サポーター養成講座」を開催し、知識と理解の向上を図った。
- 千葉県立千城台高等学校の学生が、意見を出し合って立ち上げた認知症カフェ「ルピナス」に職員を派遣し、出張スポーツレクリエーション体験会を実施するなど、高校生が企画する新たな地域活動への支援を関係機関と連携して行った。
- 医療機関(総泉病院)と連携して「栄養」「誤嚥性肺炎」「認知症予防」の3テーマについて専門職による介護予防講演会を開催し、健康意識および介護予防に関する知識の向上の機会とした。
- イオンリテール株式会社と連携し、ゆみ～る鎌取ショッピングセンターやイオンタウンおゆみ野で健康測定会を実施し、健康意識の向上や介護予防の啓発を行うとともにいきいきプラザ広報の機会とした。
- 近隣5地区部会との連携として、出張教室の開催や、地域交流イベント等での運営協力を通して、協力関係の強化と新規出張拡大に努めた。
- 介護予防啓発の一環として、地域高齢者向けの出張教室(体操・健康測定会・スポーツレクリエーション・健康テレビゲーム体験等)の広報を積極的に行い、新規16団体での実施に繋がった。
- 東京情報大学と連携し、コミュニティカフェ「こもれび」や区民まつりに職員を派遣して出張教室を行い、協力関係の強化に努めた。
- 地域多世代交流として「若葉いきいき秋フェスティバル」を初めて開催し、モルックやターゲットバードゴルフ体験、ナチュラルリース作り等のワークショップ、音楽コンサート、ドッグセラピー等を実施し、幅広い年代が交流を深める機会や広報の場となった。また、当協議会若葉区事務所や近隣地区部会と連携のもと実施した。
- 屋根付きゲートボール場のある施設特性を踏まえ、千葉市ゲートボール連盟と連携して「若葉いきいきプラザ杯ゲートボール大会」を開催し、様々な年代の参加者がチーム対抗戦を行い、交流を深める機会とした。
- 当協議会若葉区事務所、若葉区圏域あんしんケアセンターなど関係機関と定例地域ケア会議、地域健康づくり支援連絡会議、生活支援コーディネーター第1層協議体に参加して、地域課題に関する事例検討や情報共有等を行い連携を強化した。また、民生委員児童委員協議会理事会や地区部会従事者研修に参加し、情報共有とともにいきいきプラザ広報に努めた。
- 高齢者のデジタルデバインド対策として、スマートフォンやパソコン講座を開催し、ICT利活用推進の機会とした。

- 介護予防や認知症予防を目的とした高齢者講演会を13回開催した。
- 高齢者のデジタルデバインド改善やICTリテラシー向上を図るためスマートフォン講座を開催し利用促進を図った。
- 千葉市あんしんケアセンター誉田と連携し「補聴器ってどんなもの？」「腸の元気は、からだの元気」の講演会と、認知症サポーター養成講座を開催し、情報の提供と認知症理解の向上を図った。
- 医療機関（総泉病院）と連携し、専門職による3つのテーマ「高齢期の食生活」「気づこう防ごう誤嚥性肺炎」「認知症予防体操」を開催し、介護予防に関する知識の向上を図った。
- eスポーツ体験会や短期講座を開催しゲームが初めての方への効果説明や啓発を図った。
- 高齢者福祉講座は、介護予防や趣味系等、多様な講座を企画した。年度途中からでも参加しやすいよう、短期講座（全4回）を実施した。
- 「毎日が介護予防」と題して、館内にあるウォーキングマシーンや手すりのある階段を活用して、仮想の日本一周や富士山登山を無理なく楽しんでいただけるイベントを行った。
- イオンリテール（株）と連携し緑区ゆみ～るやイオンスタイルで健康測定会を実施して介護予防の啓発を図った。
- 同好会支援として、会員募集掲示板を誰もが目にしやすい場所に設置したり、いきいきプラザだよりも情報を掲載し新規の会員を募集した。講座の種目として取り上げ、会員の増加へとつなげることが出来た。
- ホームページやいきいきプラザだよりの他、地域コミュニティ誌を活用しイベントの案内や募集、報告等の情報発信を行った。また、地域のスーパー等に協力いただき、パンフレット配架で宣伝を図った。
- いきいきプラザフェスティバルでは、同好会の作品展示や演芸会にて、日常の成果や歌唱や演舞を披露していただく事で日々の活動意欲の向上へとつながった。また、関係機関と連携した相談ブースやワークホームの参加で農産生産品の即売など、喜ばれる有意義な時間になった。
- 「生きがい活動支援通所事業」体験会を行ない宣伝をした。シニアリーダー体操や緑区健康課のフレイル予防教室など連携した企画で介護予防を啓発した。
- 誉田あんしんネットワーク会議や見守りネットワーク会議土気に参加し、関係機関や民生委員と情報交換や共有をして協力体制の強化に努めた。
- あんしんケアセンターには講演会講師として協力していただいたり、協働で町内自治会等に出向き健康測定会や体操等を行った。また、誉田圏域多職種連携会議に参加し、地域での認知症支援体制について情報を共有した。

- 応募倍率の高い体操教室は、いきいき体操を前・後期（6か月）各4クラス開講し、映像を活用したミニボディケアスクールを、4期（3か月）2クラスから4クラスへ増設した。また、施設間をオンラインにより同時配信し、理学療法士によるポイントケアルームを開講した。
- 出張教室は、これまでの介護予防体操や健康測定に加え、テレビゲームやボッチャ、モルック、輪投げなどプログラムを多様化させ、地域活動を支援した。
- イオンリテール㈱と連携し、イオン店舗での測定会の開催により、広く市民への健康への意識向上を啓発するとともに、いきいきプラザの認知向上を図った。
- eスポーツの拠点整備の一環として、短期講座や本格的なレーシングゲームの体験会、フリースペースでの設置のほか、健康ゲームラウンジを自由参加型で開催し、ツールとしてのテレビゲームにより、利用者同士の交流を図った。
- 民生委員児童委員協議会や社会福祉協議会地区部会で事業案内し、毎月の各民生委員へのいきいきだよりによる広報を継続するとともに、直接の定例会議に出席し、出張教室や生きがい活動支援通所事業の案内、意見交換を実施した。
- 高齢者福祉講座は、期の途中から参加できるよう短期（4回）の講座を増加し、参加者数の増加を図った。また、ソニー生命保険㈱やソフトバンク㈱など民間事業者や千葉市シルバー人材センターと連携し、多様なテーマでの講座・講演会を開催した。
- 毎日、開館前にラジオ体操を実施し、利用者数の増加を図るとともに、利用者同士あるいは職員と利用者とのコミュニケーションの場となった。
- NPO法人と連携し、地域の中で年齢を問わず集える居場所づくりを月1回開催した。
- 千葉市立稲毛高等学校・国際中等教育学校の弦楽オーケストラと企画から一緒に打合せし、高齢者との交流と共に学生の社会経験の場を提供した。
- 「顔ヨガ」、「オカリナ」、「ボッチャ」講座の修了者に対し、活動を継続するために同好会活動の立ち上げを支援した。

- アリオ蘇我で行われた、中央区健康課主催の健康イベントに中央いきいきプラザと一緒に参加し、骨密度及び血管年齢測定を2日間実施した。高齢者に限らず地域のたくさんの来場者に介護予防の啓発とプラザ・センターの宣伝・広報を行った。
- 当協議会中央区事務所と協働し、各地区部会にプラザ・センターの事業内容等を紹介し、出張体操のデモを行った。その結果、出張件数の増加に繋がった。
- 当センターで恒例となっている「歌声集会」は、蘇我コミュニティセンターと共催することで、大勢が収容できる会場で実施できた。年4回実施し、計180人の方に参加いただいた。
- 蘇我コミュニティセンターが実施した防災イベント「まなぼうさい」や「コミセン祭り」では当センターが「健康テレビゲーム」を行い、多くの地域の方にご参加いただいた。
- あんしんケアセンター松ヶ丘と認知症の人と家族の会、中央いきいきプラザと協議体「共に歩む会」を発足させ、認知症サポーター養成講座や認知症見守り体験会、認知症家族の体験講話を共催で実施し、認知症への理解を深める取り組みを行った。
- 児童施設との複合施設という強みを生かし、子育てリラックス館や子どもルームと協力して、七夕飾りを共に行う世代間交流を行った。また各施設のイベントに当センター利用の同好会が出向いて日々の活動を披露した。
- 健康テレビゲームの講演会と短期講座を実施した。認知機能の向上やコミュニケーション促進のツールとして、興味や関心を持って体験いただける機会とした。また健康テレビゲームの常設を実施すると共に、職員2名が健康ゲーム指導士の資格を取得した。他の職員もゲームの使用方法等を学び、利用の希望や質問を受けた際に対応できるようにした。
- 中央区健康課が実施しているフレイル予防講座を、生きがい活動支援通所事業で実施の他、同好会や出張先の団体にも紹介し介護予防へと繋げた。
- 蘇我いきいきセンターフェスティバルをコロナ禍前の規模で実施した。同好会の発表や外部団体による公演、地域の方や千葉市の事業者の方の協力を得た軽食販売、当センター恒例のバザー等、活気溢れる2日間となった。
- 各いきいきプラザで理学療法士が実施しているポイントケアルームをオンライン配信することで、複数のセンターでも実施できるようにし、多くの方に参加いただいた。
- 運動の相談を受けた際や、他事業開催時に積極的な広報を行ったことでミニボディケアスクールの参加者が増加した。
- 日頃より利用者と積極的にコミュニケーションを図り信頼関係を構築することで、生活相談の件数を増加させた。

- 花見川団地自治会、住宅自治会をはじめ、図書館、保育所、小学校にポスター掲示やチラシ配架などの協力を依頼し広報に努め、より多くの方の目に触れる機会を設けた。
- 健康フェスティバルで、ボディケアスクールを担当している理学療法士による身体相談を実施し、個別相談に繋げた。
- ボディケアスクールの補欠、落選の方を中心に、ミニボディケアスクールや、短期腰痛予防教室ポイントケアルームを実施し、運動の場を拡充させた。
- 高齢者講演会では、利用者から好評である「理学療法士による体操」、「ストロレ」を花見川いきいきプラザとオンラインでつなぎ、補欠、落選の方を中心に参加の機会を提供した。
- 出張教室では、介護予防体操、ポッチャ、血管や骨密度等の健康測定を実施し、地域活動の一助を担った。
- センターフェスティバルでは、作品展示と学習発表会を実施し、同好会に発表の場を設けて活動意欲の向上を促し、積極的な同好会活動につなげるように努めた。また、演芸会を実施して個人発表の場の提供や、講演会「理学療法士による体操」を実施し運動機会の拡充を図った。
- 利用者交流支援では、季節に合わせた音楽会（管弦楽コンサート）夏、冬、春に3回開催した。また、利用者からの要望で、他施設で人気の「歌声集会」を2回実施し、利用者同士の交流の場とした。
- 自主体操では、千葉市花見川保健福祉センター健康課と共催で「ちばしいいきいき体操」を実施し、定期的な体操の機会提供した。
- 当協議会花見川第二地区部会が主催で行う地域カフェ「ふれあい喫茶」に会場を提供した。

さつきが丘
いきいきセンター

B

- さつきが丘公民館と連携し、近隣町内自治会14団体へ450部のいきいきだよりを配布し新規利用者獲得をおこなった。
- 利用者交流支援として「歌声集会」を4回、コンサートを夏冬それぞれに実施した。
- 短期講座や生きがい活動支援通所事業の教養講座を同好会講師に依頼し内容の理解や体験を通して会員の新規開拓に繋げた。
- 利用の少ない週末の稼働率を上げるために高齢者福祉講座、利用者交流支援、世代間交流、いきいきセンターフェスティバル（学習発表会、作品展示会）、土日100歳体操を土日に設定した。
- 当協議会さつきが丘・宮野木台地区部会主催の「福祉まつり」を開催し、学校や警察、福祉団体等、様々な団体が集まり地域の連携を深めた。
- 健康ゲーム講座を実施し、認知症予防だけでなくお互いに操作や要領を教え合うことにより仲間づくりにも繋がった。
- 千葉県生涯学習センターに依頼し、ジャズ演奏者、手品のボランティアを紹介、講演してもらい、いきいきセンターフェスティバルの後半を盛り上げていただいた。
- 近隣老人会の西さつき会やすずらんの会より依頼を受け、出張体操及び訪問健康相談を年3回実施した。
- さつきが丘公民館運営懇談会委員として2度の会議に参加し、公民館だけでなく地区部会長や地域の小中学校長と連携を深めた。
- 家族の介護をする方の孤立を防ぎ、介護者同士の学びやコミュニケーションの場である「ケアラズカフェここカフェ」に月1回集いの場を提供した。

- 高齢者福祉講座では、参加しやすい短期講座を前年度より増やして利用者増に繋げた。
- ボディケアスクールを落選された方や日時の合わない方へ、理学療法士監修のDVDによる「ミニボディケアスクール」を実施し、介護予防を図るなど利用者増に繋げた。
- 生きがい活動支援通所事業では、新規利用者の獲得と多くの高齢者の方への介護予防につなげるために、「生きがい活動支援通所事業体験会」で一般応募とは別に地域で高齢者と接点のある民生委員に参加・体験を行った。
- 同好会の活動支援では、高齢者福祉講座終了後や同好会PR体験フェアを実施して、新規会員の加入に繋げた。また、見学者やセンターフェスティバル等のイベントで積極的に活動紹介を実施して同好会活動の支援を行った。
- 利用者交流支援では、カラオケのDVDを上映して懐かしい歌謡曲を参加者が一緒に歌う「歌声サロンあやめ」や、アマチュアギターによる生演奏、弦楽三重奏コンサートを季節ごとに開催して利用者同士の交流を深めるとともに、利用者増に繋げた。
- 世代間交流では、近隣のアフタースクールやあやめ台小学校の児童（1年生）と生きがい活動支援通所事業利用者との交流の機会を増やした。
- シニアリーダー体操では、参加者の身体機能の維持、介護予防を図るために毎月2回実施して利用者増に繋げた。また、シニアリーダーの活動の場の確保を図った。
- 男性の利用参加の向上を図るために、男性を対象にした「男のいきいき体操」を前年度同様に実施、利用者数は微減であったが、男性の利用参加の向上を図った。また、稲毛区健康課と協働して男性限定の栄養教室を実施して健康づくりを図った。
- 毎週日曜日を中心に朝に健康づくりとして自由に参加できる「ラジオ体操」を実施して利用者増につなげた。
- 社会福祉協議会区事務所と連携して社会福祉協議会地区部会のふれあい・いきいきサロン等へ出向き、体操や健康測定を実施して普段、施設の利用がない地域の高齢者への健康づくりを図った。
- 広報活動では、新規利用者の確保に向けて、地域の高齢者と接点がある民生委員に毎月のセンター情報を提供するため、区内13地区の民生委員児童委員協議会に広報誌（いきいきだより）を配布して、新たな利用者確保に努めた。
- 千葉県あんしんケアセンターなど地域の関係機関との連携協力に引き続き取り組み、情報共有や事業周知に努めた。

- 介護予防や認知症予防などを目的とした高齢者講演会を9回開催した。
- 大宮小学校内の立地特性を活かし、大宮小学校アフタースクールとの世代間交流を4回実施し、季節ごとのお祭りや創作活動を児童と一緒にを行い、世代間の交流と相互理解を深める機会とした。
- 近隣の大宮台保育所との世代間交流を2回実施し、お遊戯や歌の鑑賞などを行い、世代間の交流と相互理解を深める機会とした。
- 生きがい活動支援通所事業は、令和7年1月より毎週金曜日「北大宮台自治会館」を会場とした「出張生きがい活動支援通所」を実施し、新規利用者の獲得および利用者数の大幅な増加に繋がった。また、地域全体への広報の足掛かりとして、北大宮台自治会との協力関係の強化を図った。
- イオンリテール株式会社と連携し、ゆみ～る鎌取ショッピングセンターやイオンタウンおゆみ野で健康測定会を実施し、健康意識の向上や介護予防の啓発を行うとともにいきいきセンター広報の機会とした。
- 千葉県立千城台高等学校の学生が、意見を出し合って立ち上げた認知症カフェ「ルピナス」に職員を派遣し、出張スポーツレクリエーション体験会を実施するなど、高校生が企画する新たな地域活動への支援を関係機関と連携して行った。
- 大宮いきいきだよりの近隣町内自治会回覧板への配布や、事業チラシのポスティングなど、広報の強化に努めた
- 地域で活動している団体への出張体操を67回実施し、利用者数の増加や新規出張先の拡大に繋がった。
- 大宮小学校評議員会の一員として、大宮台保育所、大宮公民館、町内自治会長等とともに、学校と地域の連携に関する情報交換を行った。
- 関係機関との連携の一環として、若葉区圏域あんしんケアセンター、若葉区保健福祉センター、当協議会若葉区事務所等、地域の高齢者支援に関わる機関との定例地域ケア会議に参加し、高齢者支援に関する事例検討や情報共有を行った。
- あんしんケアセンター大宮台と情報交換会や随時の話し合いを設け、地域の現状や課題、新規出張先などを共有した。また、共催事業「あんしんいきいき測定会」を行うなど、同センターとの協力関係の強化を図った。
- 高齢者のデジタルデバインド対策として、スマートフォン講座を開催し、ICT利活用推進の機会とした。

都賀
いきいきセンター

C

- 介護予防や認知症予防などを目的とした高齢者講演会を計12回開催した。
- 生きがい活動通所支援事業のご利用者が近隣の幼稚園へ伺い、園児と一緒にクリスマス交流会を実施し、世代間交流と相互理解を深める場とした。
- 都賀いきいきセンターフェスティバルでは、作品展示・学習発表会をはじめ利用者交流音楽コンサート、世代間交流(ゲーム大会・折り紙体験・どんぐりアート工作)と様々なイベントを行ない、地域の方との交流を深める機会や広報の場とした。
- 関係機関との連携の一環として、若葉区圏域あんしんケアセンター、若葉区保健福祉センター、当協議会若葉区事務所等、地域の高齢者支援に関わる機関との定例地域ケア会議に参加し、高齢者支援に関する事例検討や情報共有を行った。また、児童委員民生委員理事会や地区部会従事者研修に参加し、情報共有とともにいきいきセンターの広報に努めた。
- 千葉市あんしんケアセンター都賀・桜木・みつわ台と連携協力し、「出張相談会」を2回開催し、あんしんケアセンターの情報提供や地域の方々の生活相談を行なう場を設けた。
- 千葉県立千城台高等学校の学生が、意見を出し合って立ち上げた認知症カフェ「ルピナス」に職員を派遣し、出張スポーツレクリエーション体験会を実施するなど、高校生が企画する新たな地域活動への支援を関係機関と連携して行った。
- 介護予防啓発の一環として、地域高齢者向けの出張教室(体操・健康測定会・スポーツレクリエーション・健康テレビゲーム体験等)の広報を積極的に行い、新規19団体での実施に繋がった。
- 東京情報大学と連携し、コミュニティカフェ「こもれび」や区民まつりに職員を派遣して出張教室を行い、協力関係の強化に努めた。
- シニアリーダー体操の活動が継続できるよう、活動の場を提供し活動支援を行った。
- 利用者の介護予防への意識の高まりを受け、仲間づくりにもつながる「都賀いきいきミニ体操」を毎月2回定例化して行った。
- 近隣の公民館(桜木・若松・みつわ台)に広報誌の配架を依頼し、地域の方々へ広く周知を図り、新規利用者獲得に努めた。
- 高齢者のデジタルデバインド対策として、スマートフォン講座を開催し、ICT活用推進の機会とした。

<p>越智 いきいきセンター</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●介護予防や体操、歌唱に加え学習系の講演会をシリーズ開催も含め15回実施した。 ●世代間交流は新しい取り組みとして越智小学校と協力して、小学4年生の「総合的な学習の時間」を使い、来所されている利用者と交流するとともに、高齢理解や共助など学習的観点を交えながら実施し、大変好評いただきました。町ですれ違う際挨拶の機会が増えたと声を頂けた。 ●見守りネットワーク会議土気に参加し、関係機関や民生委員と情報交換や共有をして協力体制の強化に努めた。 ●日曜日と月曜日の朝にラジオ体操を開催し、定期的な来館と健康増進を図った。 ●越智公民館と共同で避難訓練を実施した。 ●ちばシティポイント導入説明会を行いました。気軽に立ち寄れる散歩コースとして来館を頂ける様になった。利用者の健康増進と利用の増加に繋がった。 ●地域交流として、町内会主催の秋祭りに参加し、レクリエーション企画を実施。体操や脳年齢、血管年齢の測定を行い、健康づくりへの啓発活動を実施した。地域との関係を深められ、センターの存在を周知できた。 ●いきいきセンターフェスティバルは、同好会の作品展示と学習発表会を実施。同好会の体験会を実施して入会活動者の増加を図った。
<p>土気 いきいきセンター</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新規事業として、月1回「歌の交流会」を実施しました。音楽ボランティアの市民団体と連携し、高齢者が楽しく参加し歌唱を通して交流を図る機会となりました。地域団体の活動の励みにもなりました。 ●土気小学校1年生との世代間交流「昔の遊び」を学校で行った。高齢者が指導役となり、いろいろな遊びを通して交流した。 ●見守りネットワーク会議土気に積極的に参加し、関係機関や民生委員と情報交換や共有をして、協力体制の強化に努めた。千葉市あんしんケアセンターや社会福祉協議会地区部会と協働でふれあい・いきいきサロンに出向き新規事業である健康テレビゲームの体験会を実施した。 ●地域のイベント、土気地域の「ふれあい福祉フェスティバル」緑区「ふるさと祭り」に参加。地域との連携を深め、幅広い年齢層の方へ施設の紹介・宣伝を行った。 ●土気公民館との共催事業を実施し相互利用の活性化を図った。 ●プレ60歳、60歳代への第二の人生提案や計画の提供、新たな趣味を模索できる講座等の開催として、定期的な音楽コンサートや歌唱系講座の開催、また年齢制限を設けない健康測定会を開催し、プレ60歳へ向けて施設の周知を行った。 ●土気小学校、土気公民館、土気市民センターと協働して、九都県市合同防災訓練に参加した。 ●衆議院議員総選挙・千葉県知事千葉市長選挙での期日前投票、当日投票の会場として集会室及びロビーの貸し出しを行った。

真砂
いきいきセンター

C

- 応募倍率の高い体操教室は、ボディケアスクールや映像を活用したミニボディケアスクールのほか、いきいき体操教室を後期より2クラスに増設した。また、施設間のオンライン配信による理学療法士のポイントケアルームを開講した。
- eスポーツは、短期講座や本格的なレーシングゲームの体験会、フリースペースでの設置、職員の健康ゲーム指導士の受講のほか、まさごゲームラウンジを自由参加型で開催し、ツールとしてのテレビゲームにより、利用者同士の交流を図った。
- 真砂・磯辺地区を中心に、ラジオ体操や出張体操の新規団体を増加させ、地域団体の支援とともに、いきいきセンターの認知向上を図った。
- 生きがい活動支援通所事業の活動内容を広く周知し、利用者を増加させるため、「生きがいだより」を毎月発行し、地域のおんしんケアセンターやURコミュニティへ広報した。
- イオンリテール(株)と連携し、イオン店舗での健康測定会の開催により、広く市民への健康への意識向上を啓発するとともに、いきいきプラザの認知向上を図った。

(2) 市による評価

ア 全体

総括 評価	B	所見 <ul style="list-style-type: none"> ● 概ね市の求める水準に則した、良好な管理運営が行われている。 ● 施設利用者数は市の定める数値目標を達成できていないものの、昨年より6万人弱増加させた。施設別では数値目標を達成できた施設も増加した。 ● 利用者アンケートによる満足度は市の定める数値目標を上回った。 ● 管理運営の履行状況は、健康ゲーム指導士や認知症サポーター資格を取得するなど能力向上に努めており、各種事業を市の定める実施回数以上実施するだけでなく、各地域の近隣施設と連携し事業展開を行っており、市の定める水準を上回る管理運営が行われた。
----------	---	--

	利用者数	満足度	管理運営の履行状況							管理経費縮減	総合	A又はBの割合	D又はEの割合
			1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	2 施設管理能力(1)	2 施設管理能力(2)	3 施設の効用の発揮(1)	3 施設の効用の発揮(2)	3 施設の効用の発揮(3)	4 その他				
市による評価	C	C	C	B	C	B	C	B	C	-	B	30%	0%
中央いきいきプラザ	D	C	C	B	C	B	C	B	C	-	C	33%	11%
花見川いきいきプラザ	C	B	C	B	C	B	C	B	C	-	B	44%	0%
稲毛いきいきプラザ	B	C	C	B	C	B	C	B	C	-	B	44%	0%
若葉いきいきプラザ	D	C	C	B	C	B	C	B	C	-	C	33%	11%
緑いきいきプラザ	D	B	C	B	C	B	C	B	C	-	C	44%	11%
美浜いきいきプラザ	D	C	C	B	C	B	C	B	C	-	C	33%	11%
蘇我いきいきセンター	B	C	C	B	C	B	C	B	C	-	B	44%	0%
花見川いきいきセンター	D	C	C	B	C	B	C	B	C	-	C	33%	11%
さつきが丘いきいきセンター	C	B	C	B	C	B	C	B	C	-	B	44%	0%
あやめ台いきいきセンター	B	B	C	B	C	B	C	B	C	-	B	56%	0%
大宮いきいきセンター	A	B	C	B	C	B	C	B	C	-	A	56%	0%
都賀いきいきセンター	D	C	C	B	C	B	C	B	C	-	C	33%	11%
越智いきいきセンター	B	B	C	B	C	B	C	B	C	-	B	56%	0%
土気いきいきセンター	D	B	C	B	C	B	C	B	C	-	C	44%	11%
真砂いきいきセンター	C	B	C	B	C	B	C	B	C	-	B	44%	0%

施設名	総括評価	所見
全施設共通	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設間で貸し出し可能な備品のリストを作成している。 ● 緊急の際に病院等に提出する個人情報使用同意を取っている。 ● 1日4回巡回し、チェックシートを作成している。 ● ご意見箱を設置したり事業ごとにアンケートを実施したりするなど、利用者の意見を広く募っている。 ● 理学療法士による個別相談を実施している。
中央 いきいきプラザ	C	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。 ● 松ヶ丘公民館から中央区内の他の公民館に夏祭り・秋祭り・フェスティバルのチラシを配架。第二水曜日には松ヶ丘中学校地区の円卓会議に出席し、イベントを広報。松ヶ丘町内自治会にチラシを回覧板で配布。今年度からいきいきだよりは自治会のSNSでも配信。中央区民生委員児童委員協議会に毎月いきいきだよりを配布。ゼンリン・地域新聞（チイコミ）に掲載するなど、広報に努めている。 ● 高齢者福祉講座を通年で20講座、短期で5講座開催しており、管理運営の基準（年間20講座程度）を上回る。 ● 高齢者講演会を13回開催、うち土日祝日に1回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ● 講座から4団体の同好会（麻雀・スローエアロビック・ヨガピリー・スマホ）を新規に立ち上げるなど、希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。 ● あんしんケアセンターと連携し、出張体操、いきいき体操を実施。中央区健康課と連携し、アリオでの健康測定会・フレイル予防講座・100歳体操を実施。ボランティア同好会が地域カフェを実施するなど、連携等に努めている。 ● いきいきプラザフェスティバルで公民館と連携し、午前中にいきいきプラザ団体発表、午後に公民館団体発表といった形で共催している。2日目は公民館でこども祭りを行っており、いきいきプラザでは外でストラックアウトを実施する等積極的に連携をしている。 ● 今年度から千葉県生涯大学校でボランティアに関する講演を実施している。また、民生委員や生活支援コーディネーターからの依頼で16件新たな出張先を獲得している。

<p>花見川 いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。 ●X（旧Twitter）へ毎日投稿しており、フォロワーも多い。 ●近隣の小学校で講話を実施し、イベントのチラシも配架している。 ●有料老人ホーム、グループホーム、民生委員児童委員協議会でパンフレット等を配布している。 ●ボディケアの公式LINEを運用し、理学療法士の個別相談はLINEからも相談の予約を受け付けている。 ●高齢者福祉講座を通年で41講座開催しており、管理運営の基準（年間20講座程度）を上回る。 ●高齢者講演会を21回開催、うち土日祝日に12回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●講座から前期ではズンバ、後期ではポッチャの同好会を新規に立ち上げるなど、希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。 ●地域多世代交流として夏祭り・秋祭り、クリスマスイベントや餅つき等を実施しており、管理運営の基準（各年1回以上）を上回る。 ●前期に世代間交流を2回、地域交流を2回、後期にもクリスマスイベント、フェスティバルを開催しており、管理運営の基準（各年1回以上）を上回る。 ●あんしんケアセンターの出張講座を受け入れ、相談にもつなげている。通年で有料老人ホーム・町内自治会39か所へ出張体操教室・健康測定会を実施するなど、地域の実情に合わせた事業を実施している。
<p>稲毛 いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。 ●いきいきだよりを町内自治会、民生委員児童委員協議会、あんしんケアセンター、保健福祉センター、稲毛区すべての公民館、稲毛区域のほぼ全ての公共施設、中央図書館等連携施設に配布している。今年度から地域新聞にもeスポーツ体験会を掲載した。 ●高齢者福祉講座を前期・後期各18講座、短期講座も計10回開催しており、管理運営の基準（年間20講座程度）を上回る。 ●高齢者講演会を通年で14回開催、うち土日に3回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●7団体の同好会を新規に立ち上げるなど、希望者のコーディネートを行い、活動を支援している（現在計90団体）。 ●ゲートボール場を卓球やポッチャ、走らないサッカー、毎朝のラジオ体操、いきいきフェスティバル時の出店、ゲートボール体験会など、広く活用に努め、他施設より利用者数が多い。 ●あんしんケアセンター、公民館と出張健康測定会、認知症サポーター養成講座などで連携している。 ●地域活性会議（不定期）、社会福祉協議会地区部会、地域ケア会議に参加するなど、連携に努めている。 ●自主事業としてボランティア養成講座を実施し、近隣保育園児を招き、読み聞かせの会を実施している。 ●健康測定会や体操教室等37回（うちeスポーツ19回）の出張を行う等積極的な実施に努めている。

<p>若葉 いきいきプラザ</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。認知症サポーターについては、職員全員が取得している。 ●公民館、あんしんケアセンター、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、生活自立・仕事相談センターにチラシを配布するなど、広報に努めている。北谷津温水プールに多世代交流の際にはちらしを配架している。また、地域新聞やピビナビにもチラシを掲載するなど、広報先を積極的に増やしている。 ●高齢者福祉講座を通年で33講座開催しており、管理運営の基準（年間20講座程度）を上回る。 ●高齢者講演会を通年で10回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●2団体の同好会を新規に立ち上げている。講座終了後に希望者のコーディネートを行い、既存の同好会への参加を支援している。同好会一覧を作成し、チラシと一緒に公民館等に配布している。また、同好会の作品を館内に展示して加入を促している。 ●今年度から初めて「秋フェス」を実施し、世代間交流としてターゲットバードゴルフ、モルック、ドッグセラピーを行うなど、新しいことも積極的に取り入れている。また、夏休みに親子で陶芸教室を開いたり、近隣の幼稚園とクリスマス交流会を開くなど、積極的に交流を図っている。 ●地域ケア会議に毎月参加しているほか、民生委員児童委員協議会、あんしんケア会議でもいきいきだより等を配布している。 ●地域健康づくり支援連絡会に参加し、介護予防体操で連携している。 ●あんしんケアセンター千城台の認知症カフェにも参加している。また、千城台高校の認知症カフェルピナス、東京情報大学のコミュニティカフェこもれびに参加し、区民祭りではeスポーツの出張も行う等学生とも積極的に協力関係を築いている。また、近隣の病院でも講演会を行っており、幅広く事業を実施している。
<p>緑 いきいきプラザ</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。認知症サポーターについては、職員全員が取得している。 ●鎌取イオン、ヤオコーおゆみ野、カスミ等いきいきプラザのパンフレットを配架。読売新聞折込で行事をお知らせするなど、広報に努めている。 ●月初に民生委員児童委員協議会、地区部会へチラシを配布していることに加え、メールで民生委員宛にも配布している。 ●高齢者福祉講座を通年で27講座を計画しており、管理運営の基準（年間20講座程度）を上回る。 ●高齢者講演会を年間11回開催、うち土日に2回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●同好会一覧を作成し、パンフレットとともに近隣施設に配架している。また、館内に作品を展示し、同好会参加者を募り、1団体の同好会を新規に立ち上げたり、人数が少ない既存の同好会には、短期講座を開催するなど、活性化に努めている。 ●世代間交流として陶芸2回、書初め1回、多世代交流として鑑識体験、モルック、茶道、モルツチャ、ニューイヤーコンサート等積極的に交流した。 ●あんしんケアセンターと共同で出張健康相談、健康課と歯っぴー健口教室を実施している。生活自立・仕事相談センターと相談会を共催するなど、連携に努めている。 ●いきいきプラザフェスティバルで障害施設の出店を実現した。 ●あんしんケアセンター誉田と千葉市シルバー人材センターを招き、入会説明会を開催している。

<p>美浜 いきいきプラザ</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。 ●高洲・高浜地区の自治会の回覧板や真砂地区部会のHPにもいきいきだよりを掲載している。自治会のないURなどにはポスティングを行っている。 ●民生委員児童委員協議会に出席し、パンフレット・いきいきだよりを配布している。あんしんケアセンターとも積極的に交流し、配架を行っている。 ●高齢者福祉講座を毎年29講座と短期講座（eスポーツ等）を4回実施しており、管理運営の基準（年間20講座程度）を上回る。また、空調工事で部屋が使えない期間も高洲コミュニティセンターで講座を開催する等積極的に実施している。 ●高齢者講演会を毎年31回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。土日開催も多い。 ●前期・後期で各3団体の同好会を新規に立ち上げ、うち2団体が講座からの派生であり、希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。また、工事期間で部屋数が限られているものの、コミュニティセンターの部屋を借用し、時間調整を行う等して、継続的に同好会の活動ができるよう支援している。 ●世代間交流として夏休みに陶芸教室、冬休みに書初めを各2回実施している。 ●小学校のまち探検に協力するなど積極的に交流をしている。 ●工事期間で部屋数が限られているものの、フェスティバルも期間や日程を調整して開催している。 ●高洲第三小学校に書初めのチラシを持ち込み、配架している。 ●NPO法人Q-miiに毎月第3日曜日で地域カフェスペースの提供（落語等）をしている。 ●UR高洲団地と毎週ラジオ体操を開催しており、3月から磯辺にも出張体操教室を予定している。 ●美浜区健康課と出張健康測定会を開催しているほか、イオン各店舗（マリンピア・検見川浜・稲毛・鎌取等）でポッチャ体験コーナーや出張健康測定会を実施している。
<p>蘇我 いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーター、介護予防指導士の資格を取得している。 ●町内自治会、コミュニティセンター、民生委員児童委員協議会、民生委員会議で広報を実施している。イベントの際にはゼンリンに掲載するなど広報に努めている。 ●高齢者講演会を毎年13回開催（土日開催含む）しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●3団体の同好会を新規に立ち上げるなど、希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。 ●七夕、盆踊り、マジックショー、フェスティバル等をこどもルーム、子育てリラククス館などと連携して実施している。また、フェスティバルでは、着ぐるみとの撮影会を行うなど、創意工夫を尽くしている。 ●健康課と100歳体操やアリオ等での出張健康イベントを実施。また、生きがい活動支援通所事業や同好会でフレイル予防の講座を共催している。 ●コミュニティセンターで出張による年2回のeスポーツ体験会や、歌声集会の実施など、連携に努めている。 ●淑徳大学等6校の実習生を受け入れる等、学校との協力関係も良好である。

<p>花見川 いきいきセンター</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。 ●町内自治会、商店街にイベントのポスターを掲示してもらうほか、町内自治会の広報誌、びびなび（街の情報生活サイト）にチラシを掲載してもらうなど広報に努めている。また、事務局だより等団地自治会の新聞やチラシ等の配架も始めた。 ●高齢者講演会を通年で15回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●2団体の準同好会を新規に立ち上げるなど、希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。 ●あんしんケアセンターと健康フェスティバル、認知症サポーター養成講座、地域カフェを共催し、月2回体操教室も実施、広報協力も相互に行っている。 ●自治会広報誌に情報掲載やポスター掲示しているほか、健康課に講演会講師の依頼や健康講座の会場を提供するなど、連携に努めている。
<p>さつきが丘 いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。 ●公民会と連携して町内自治会に450部ポスティングを行った。新たにさつきが丘公民館運営懇親会・地域ケア会議にも参加し、広報を行っている。 ●高齢者講演会を通年で3回開催、うち土日に1回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●2団体の同好会を新規に立ち上げる。人数が少ない同好会を中心に短期講座を設定する等、希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。 ●小学生とクリスマスツリーの飾りつけ等で交流。センターフェスティバルも開催している。 ●多世代交流では、さつきが丘東小学校子どもルームに広報協力してもらっている。 ●社会福祉協議会さつきが丘・宮野木台地区部会と健康体操を実施し、広報協力も行っている。さつきが丘公民館運営懇談会委員に配属され、小中学校長等とも連携し、意見交換を行っている。

<p>あやめ台 いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士の資格を取得している。 ●いきいきだよりを町内自治会とあんしんケアセンター、あやめ台団地や出張先、稲毛区域のほぼ全ての公共施設に配布するなど、広報に努めている。 ●高齢者講演会を通年で32回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。また、土日開催も16回と多い。 ●講座から既存の同好会への参加を支援しているほか、人数が減少している既存の同好会を対象に体験フェアを開催するなど、活動を支援している。 ●地域交流としてフェスティバルを開催、世代間交流として夏休みにいきいきタイムを設定し、3日間のアフタースクールとの相互交流（ポッチャ・eスポーツなど）を実施するなど、学校・地域との交流を深めており、他施設よりも世代間交流の回数が多い。 ●あんしんケアセンターと出張体操教室、健康測定会を実施しているほか、健康課と健口教室、食事セミナーを実施。 ●地域包括ケア推進課と認知症情報コーナー「オレンジナビ」を設置。 ●あやめ台小学校の1年生にいきいきセンターの授業を実施するなど、多方面と連携を密にしている。
<p>大宮 いきいきセンター</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、認知症サポーターステップアップ講座を受講し、積極的に能力向上を図っている。 ●地域新聞に骨密度測定会・フェスティバルを掲載。いきいきだよりを大宮自治会、北大宮自治会に届けている。出張先（グランドゴルフ）でも手渡して配架している。あんしんケアセンターにもチラシを配布するなど広報に努めている。 ●高齢者講演会を通年で10回開催、うち休日に2回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●希望者のコーディネートを行い、同好会への参加を支援している。 ●あんしんケアセンターと年1回会議を行っている。 ●自治会（和楽会）にも出張でeスポーツ体験会をしたり、会議を行っている。 ●あんしんケアセンターや地区部会と連携し、健康課の講座もいきいきセンターで開催している。 ●イオン、自治会館、公民館であんしんケアセンターや地区部会と血管年齢測定会を実施している。 ●世代間交流として千城台高校や千葉聖心高校とモルックで交流している。 ●大宮小学校アフタースクールでは夏祭りや折り紙づくりなど、大宮台保育所とは手遊び交流を行うなど、多世代にわたって積極的に交流を図っている。

<p>都賀 いきいきセンター</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。 ●いきいきだより、HPをはじめとして、社会福祉協議会若葉区事務所を通じて民生委員から周知してもらっている。 ●みつわ台公民館、桜木公民館のほか、今年度から若松公民館へ毎月いきいきだよりを配架している。 ●世代間交流については、近隣の幼稚園・保育所にもポスターを掲示している。 ●高齢者講演会を通年で12回開催、うち土日に5回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●1団体（体操）の同好会を新規に立ち上げるなど、希望者のコーディネートを行い、参加を支援している（現在計29団体）。 ●近隣町内自治会等への広報により、生きがい活動支援通所事業の利用者が前期82人、後期77人（男性は各15人）と多い。 ●都賀コミュニティセンターまつりと合わせて看護師による健康相談を実施している。 ●和陽園や近隣町内自治会等に積極的に出張し、新規出張先として計19件開拓している。 ●あんしんケアセンターの出張相談会を実施しているほか、地域ケア会議にも毎月参加するなど、広報にも努めている。
<p>越智 いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士、認知症サポーターの資格を取得している。 ●公民館の専用ボックスにチラシを毎月配架している。 ●郵便局・町内自治会にイベントのチラシを配架している。 ●町内の掲示板5か所にポスターを掲示している。 ●あんしんケアセンターにも資料送付している。 ●ちばシティポイントの説明会の参加者募集を町内自治会の広報紙に掲載した。 ●高齢者講演会を通年で8回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●新規メンバーの募集をしている同好会の支援を積極的に行っている。人数の少ない同好会についてはフェスティバルでも体験会を実施する等、希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。 ●あんしんケアセンターの見守り会議に毎月出席したり、民生委員児童委員協議会にいきいきだよりを毎月配布している。 ●2か月に1回土気地区部会が行っている公民館のサークルの食事会（ふれあい食事会）に出向き、健康相談と出張体操教室を実施している。 ●健康課と食事セミナーを実施している。 ●自治会の祭りでも出張体操教室と健康測定会を行ったり、（自治会経由で小学校に依頼してメッセージカードも配架）いきいきセンター利用者が考えた〇×クイズを自治会の祭りで行う等して、子供と交流の場を設けた。 ●越智小学校の校長と話をし、4年生が越智いきいきセンターの見学をした。小学生の音楽の発表や小学生が体操を考えて、いきいきセンター利用者へ教えてくれたり、広報紙も電子で渡している等、密に交流を図っている。

<p>土気 いきいきセンター</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士の資格を取得している。 ●土気中学校区の町内自治会の回覧板で毎月200部配布してもらっているほか、公民館、あんしんケアセンター、あすみが丘プラザでも配布している。近隣のマンションに町内自治会経由で配布してもらっている。 ●高齢者講演会を年間18回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●希望者のコーディネートを行い、同好会への参加を支援している。 ●高齢者講演会を通年で13回実施しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。 ●公民館と落語会、土気小と昔遊び、葬儀会社やあんしんケアセンター等とeスポーツを共同開催している。 ●緑区健康課、生命保険会社とベジチェック・健康相談を行ったり、市民活動支援センターとフェスティバルで作品展示をするなど、連携に努めている。
<p>真砂 いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員全員が普通救命講習を受講している。また、健康ゲーム指導士の資格を取得している。 ●イオン等の出張先でのチラシ配架やUR真砂の掲示板にいきいきだよりを掲載しているほか、フェスティバルのチラシを60歳以上の家庭にポスティングするなど、広報に努めている。 ●高齢者講演会を年9回開催、うち土日に2回開催しており、管理運営の基準（年2回以上）を上回る。 ●希望者のコーディネートを行い、参加を支援している。 ●打瀬地区部会と健康フェスティバルのほか、いきいきサロンで出張体操教室を実施している。 ●カープスやあんしんケアセンター磯辺と脳年齢測定会、磯辺7丁目東自治会と月1回出張体操教室、UR・団地等でも出張体操教室を実施している。 ●幕張・幕張西地区での出張体操教室も請負予定としており、あんしんケアセンターと開拓を行っている。 ●毎週木曜日に真砂団地で出張でのラジオ体操を実施しているほか、世代間交流のチラシを公民館やURで配布している。 ●URと連携し、イベントを数回開催している。いきいきだよりに普段の活動内容を写真で掲載し、URと団地に配布している。eスポーツも取り入れ、連携に努めている。

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、提出された財務分析シートを確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については、適切に管理が行われていると認められるが、次の事項に留意されたい。
- ①車がなくても通えるよう、利用者のアクセス方法について利便性が向上するよう引き続きご検討いただきたい。
- ②スマホ講座について、デジタルデバイド解消にとっても大事な取組みで評価できる。地域の大学生と協働するなど、多世代交流も含め続けていただきたい。
- ③職員が認知症サポーターの研修を受けたり、プラザ・センターが認知症患者等の居場所になっていることは、大変評価できるので、引き続き続けていただきたい。
- ④介護予防をすすめる上で、食や栄養を意識した取組みを増やしていただきたい。
- ⑤アンケートの取り方について、二次元バーコードの使用など紙媒体以外での実施についてご検討いただきたい。
- ⑥成果指標について、今後の高齢者人口の増加を鑑み、利用者数ではない指標もご検討いただきたい。